

# 次世代 郊外 まちづくり 通信

2013年1月発行  
編集・発行

横浜市・東京急行電鉄株式会社

[連絡先] 横浜市建築局企画課

☎045-671-3628

vol.3



次世代郊外まちづくり通信は、「次世代郊外まちづくり」のさまざまな活動をお知らせし、地域の皆さまをはじめとして多くの方々に知ってもらうためのニュースです。

## 【特集】

### ●次世代郊外まちづくりワークショップ —これまでの検討内容をご紹介します—

「次世代郊外まちづくりワークショップ」は、地域の皆さまと横浜市、東急電鉄が、「次世代郊外まちづくり」のビジョンを一緒につくっていく取組です。2012年12月8日(土)に第3回のワークショップを開催し、全5回のプログラムの折り返し地点に到達しました。

次世代郊外まちづくり通信 vol.2では、モデル地区アンケートの概要をお知らせいたしました。vol.3では、第1回～第3回までの検討内容をご紹介します。

また、2013年1月18日(金)、19日(土)には、たまプラーザ テラスにて、検討内容を展示し、地域の皆さまからご意見やアイデアをいただく「オープンワークショップ」も開催いたしますので、ぜひ足をお運びください(詳しくはp8をご覧ください)。

#### 次世代郊外まちづくりキックオフフォーラム 2012年7月14日(土)

200名近い地域の皆さまにご参加いただき、講師お二人によるまちづくりトークや、地域の方も参加したパネル・ディスカッションを行いました。



#### 第1回 まちに出て“美しが丘”の今を知ろう 2012年10月6日(土)

前半は各コースに分かれて自分たちが住むまちを再発見するまち歩きを行い、後半は実際にまちを歩いてみて感じたことをディスカッションしました。地形に高低差があるので高齢者の交通サポートが大切、空き家・空き室を活用したい、コミュニティの拠点がほしいなどアイデアの提案もありました。



#### 第2回 将来の課題を把握して未来の物語を描こう 2012年10月21日(日)

前半は、このまま10年後を迎えるとどうなるのかをイメージしながら、将来の気がかりな点や可能性を考えました。

後半は、グループ毎に理想の将来像をイメージして、まちの新たな魅力を創造していく「未来を語る12の物語」をつくりました。皆さまが気がかりに思うことをどのように解決していくのかという道筋や、まちの将来像を考えました。



#### 第3回 まちが魅力的になるアイデアを出そう 2012年12月8日(土)

第3回は、まちを魅力的にするために大切なテーマを選択し、様々な分野から実現のためのアイデアを横断的に出し合いました。

まち歩きをきっかけにまちづくり活動の入口をつくるアイデア、多世代が集まり交流するたまり場づくりのアイデアなど、たくさんの魅力的なアイデアが出されました。

第3回から参加される方も多く、最多のご参加をいただきました。



次世代郊外まちづくりワークショップ (全5回)

# ●ワークショップで出されたご意見のまとめ

第1～3回のワークショップでは、まち歩きなどを通じてまちの魅力や気がかりを話し合ったり、物語づくりを通じてまちの将来イメージを考えました。そして、将来イメージを実現し、気がかりをチャンスに変える、たくさんの魅力的なアイデアが生まれました。

この将来イメージとアイデアは、まちを構成する「住まい」、そこで営まれる「暮らし」、暮らしの中で実感できる「豊かさ」、それらを支えるインフラとしての「土台」、そしてまちをマネジメントする「仕組み」がどうあるべきかという5つの視点で整理することができました。

## ご意見、気がかり

- 新旧コミュニティの交流がない
- 地域で集まれる場所が少ない
- 子どもたちの地域での居場所、学べる場、遊べる場が少なくなっている
- 地域に働く場が少ない

など

- 坂や階段が多く、移動しにくい
- 子育てで支援の環境が不十分
- 身近な商店が減っている
- 高齢化で、医療・介護・福祉、買い物が心配

など

- 空き家の増加や、それに伴う治安の悪化が心配
- 住宅の価格が高く、若い世代が移り住みにくい
- 団地や社宅の老朽化に伴うまちの魅力の低下が心配

など

- 災害時に自力で電力を確保できるインフラがない
- エネルギー問題はますます大切になる

など

- 緑の管理を継続的にできるか心配
- サラリーマンやリタイアしてすぐの世代は、地域との接点がほとんどない
- 高齢化が進むと、ボランティアの需給がアンバランスになる

など

## まちの将来イメージと取組アイデア (p3～)

### ① 豊かさ

- ・多様な豊かさを享受できるまち



### ② 暮らし

- ・多様な人々が暮らし続けられるまち



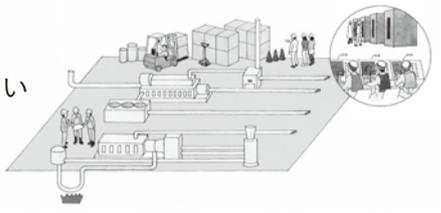
### ③ 住まい

- ・多様な住まい方が選択できるまち



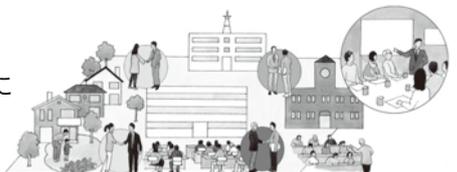
### ④ 土台

- ・時代にふさわしい土台のあるまち



### ⑤ 仕組み

- ・新たな仕組みに支えられるまち



# ●まちの将来イメージと取組アイディアをご紹介します

## ① 豊かさ ～多様な豊かさを享受できるまち～

これまでのベッドタウンとしての郊外ではなく、「シニア世代が知識や経験を活かし、地域で活躍したり、生きがいを感じるまちに」「子育て世代も住みたくなる豊かな教育環境や地域で働く場のあるまちに」「世代を超えた交流が自然と生まれるまちに」など、多様な豊かさを享受できるまちの将来イメージと取組アイディアが出されました。

### 【まちの将来イメージ】

- 子どもから高齢者まで多世代の交流がある
- コミュニティのなかに豊かさや生きがいを見つけられる
- ほどよい距離感を持った近所づきあいができる
- 若者や子育て世代にとって働く場がある
- 若者が住みたくなる魅力がある
- 子どもがまちに愛着を持てる

集合住宅の緑豊かな庭で  
交流パーティ



### 【取組アイディア】

#### 地域コミュニティの再生

- ・新旧住民、多世代の交流の促進
- ・地域コミュニティの新たな担い手の育成、若者の参画の推進
- ・大小さまざまな交流の場の整備
- ・地域交流の機会となるイベント等の実施

地域住民が集まり、交流できるカフェなど、  
プラッとたまれる場がほしい！

#### 多様な教育の環境づくり

- ・子どもの健全育成のための環境づくり
- ・青少年の居場所づくり
- ・子どもが地域に関わる機会づくり

交流の場には、自宅、空き店舗、空き家、小学校、  
公園などを活用できないかな？



#### 食の地産地消のネットワークづくり

- ・周辺の農地との連携による食の地産地消  
ネットワークの形成

#### 地域で働く環境づくり

- ・地域内で働ける環境づくり
- ・地域資源等を活かしたコミュニティビジネスの推進

若い世代にも暮らしてほしいね  
そのために駅前や家の近くに  
シェアオフィスがあったらいいな



#### 郊外住宅地の新たなブランドづくり

- ・施設の整備やイベントの開催による文化の醸成
- ・若者が楽しめるまちの魅力づくり
- ・まちの魅力の掘り起こしによる、地域への愛着の醸成

## ② 暮らし ～多様な人々が暮らし続けられるまち～

「お年寄りの移動を容易にするなど地域の足となる交通の再構築」「安心して暮らし続けられる医療と介護、見守りの連携」「子育て支援の充実」「買い物など日常生活の支援や商店街の活性化」「防犯・防災」など、多様な人々が暮らし続けられるまちの将来イメージと取組アイデアが出されました。

### 【まちの将来イメージ】

- 年をとっても安心して暮らし続けられる
- 子育て、介護など地域に必要な機能が満たされている
- 災害への備えがあり安心して暮らせる

空き家を活用して  
介護サービスの拠点に



### 【取組アイデア】

#### 地域の足となる交通の再構築

- ・高齢者などに配慮した遊歩道等の再整備
- ・現在の交通事情に合わせたまち全体の交通体系の見直し
- ・高齢者の外出を支援する公共交通の整備
- ・環境負荷の少ない多様な移動手段の実現
- ・自転車を使いやすい環境の整備

歩行者と車が分離されていることを大切にしたいね



#### 医療・介護のネットワークづくり

- ・既存ストック等を活用した医療・介護施設の整備
- ・医療・介護の連携による在宅医療、在宅介護の円滑な推進体制の確立

歳をとっても、このまちで、この家で安心して暮らし続けたい

#### 多様な子育ての環境づくり

- ・子育ての知恵が学べる多世代交流の機会づくり
- ・子育て支援施設や支援策の充実による子育て世帯への魅力向上

まちのいろいろなところに子育てや医療を支える施設があると安心

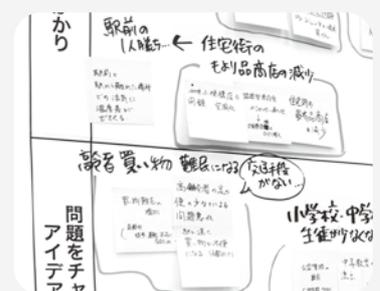


#### 日常生活を支えるサービスネットワークの構築

- ・買い物支援など、高齢者の日常生活の支援
- ・身近な場所に商店を立地するための地区計画の見直し検討
- ・単身高齢者等の見守りの実施
- ・魅力的なイベントの開催や店舗誘致による商店街の活性化
- ・自治会、商店街を中心とした清掃活動の推進

#### 安全・安心なまちづくりの推進

- ・夜間も安心して歩ける通りの整備
- ・防犯による治安の回復
- ・防災情報の充実や防災拠点の整備



### ③ 住まい ～多様な住まい方が選択できるまち～

持ち家中心で固定化したこれまでの住まい方ではなく、良好な環境を維持しながらも、「若い世代も住むことのできるまちに」「ライフステージに合わせて住み替えができるまちに」など、多様な住まい方が選択できるまちの将来イメージと取組アイデアが出されました。



多世代が住めるマンション

#### 【まちの将来イメージ】

- 住まいの再生により住み続けられる
- 若者も住まうことができる

#### 【取組アイデア】

##### 多様なライフスタイルに合わせた住まいづくり

- ・若者層、子育て世帯が暮らせる住宅の供給
- ・ゲストハウスの整備

##### 既存の住宅の再生

- ・緑豊かな住環境の保全
- ・多世代住宅化等による戸建住宅の更新
- ・空き家、空き地の適正管理や有効活用
- ・団地の再生方策の検討

団地や企業の社宅が建替る時には、地域の交流の場や子育て支援、高齢者支援機能が入ると良いと思う

- ・団地内の資源、施設の有効活用
- ・社宅の計画的な更新に伴う地域貢献施設の整備
- ・住宅の耐震化の支援

##### 住まいの循環の仕組みづくり（住み替え）

- ・高齢者が地域内で住み替えできる住宅の供給



##### 良好な街並みの維持と創造

- ・良好な街並みの保全・形成
- ・戸建住宅やマンションの緑化の推進
- ・サイン、屋外広告物の統一等による良好な景観の形成

- ・樹木の維持・継承、並木のネットワーク化など、緑化の推進
- ・身近に自然と触れ合える環境整備

将来も緑豊かな環境を大切にしたい

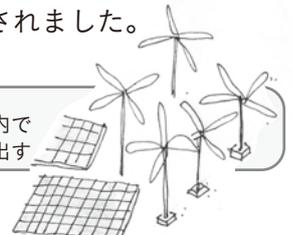
### ④ 土台 ～時代にふさわしい土台のあるまち～

「環境に配慮した地域内でのエネルギー創出」や「ICT（情報通信技術）による情報インフラの整備」など、時代にふさわしい土台のあるまちの将来イメージと取組アイデアが出されました。

#### 【まちの将来イメージ】

- エコ技術がまちのインフラとなっている

エコ技術を用い、地域内でエネルギーを生み出す



#### 【取組アイデア】

##### 環境に配慮したまちのインフラ整備

- ・地域内でのエネルギー創出、供給
- ・環境負荷の少ない多様な移動手段の実現【再掲】

##### ICTによるインフラ整備

- ・IT技術を活かしたまちのインフラ整備
- ・地域情報の発信の強化

困った人と助けたい人をICTでマッチングできると良いね

## ⑤ 仕組み ～新たな仕組みに支えられるまち～

「住民、企業、行政の協働による、まちの環境の再生や管理の体制づくり」「時代のニーズにあったまちづくりのルールの見直し」「地域活動へ誰もが気軽に楽しく参画できる機会づくり」「建物や交通のシェアの仕組みづくり」など、新たな仕組みに支えられるまちの将来イメージと取組アイデアが出されました。



### 【まちの将来イメージ】

- 小さな相談から介護まで、地域で気軽に助け合える
- 地域活動をつうじて多くの繋がりがつくれる

### 【取組アイデア】

#### 住民、企業、行政の協働による住宅地の管理等の体制づくり

- ・住民、民間、公共の多様な主体が連携できる仕組みづくり
- ・地域住民による地域拠点の管理運営の体制づくり
- ・地域住民による街路樹や公園等の公共施設の管理体制づくり



地域のための環境や施設は、  
自分たちの手で管理しても良いよね

#### まちづくりルールの見直し

- ・高齢化社会に対応した地区計画の変更の検討
- ・良好な環境を維持するためのルールづくり
- ・良好なマンション開発の誘導
- ・コミュニティ機能を有したマンションの供給



#### まちづくりへの参画の機会づくり

- ・住民がまちづくりへ関わるきっかけづくり
- ・経験やスキルのあるリタイア層などのまちづくりへの参画の仕組みづくり
- ・外部専門家の力を引き入れる仕組みづくり
- ・働きながら地域に関わる人を支える仕組みづくり
- ・ボランティア活動の促進
- ・ボランティアの育成
- ・知識や経験を活かす機会づくり
- ・地域に関わる機会づくり

地域には、いろいろな経験やスキル  
を持った人がたくさんいるよね



#### シェアの仕組みの構築

- ・建物やエネルギー、交通機関等を  
シェアする仕組みづくり

気軽に、楽しく地域のことに  
かかわれるチャンスがあるといいよね

## ●次世代郊外まちづくり“ワークショップ”開催中!

**第4回** アイディアから重要なテーマを絞り込んでみよう  
2013年2月2日(土) 13:30~16:30

[会場] たまプラーザ テラス  
プラーザホール

**第5回** 市民、企業、行政のコラボレーションを具体的に考えてみよう  
2013年3月9日(土) 13:30~16:30

## ●次世代郊外まちづくり“たまプラ大学”開催中!

**その3** 生活者視点のスマートコミュニティって?  
2013年1月25日(金) 19:00~  
講師: 久川 桃子 氏 (日経 BP 社 ecomom(エココム) プロデューサー)

[会場] たまプラーザ テラス プラーザホール  
参加費無料・申込不要 各回先着100名様

**その4** 生活を支える地域医療 ~超高齢社会のまちづくり~  
2013年1月30日(水) 19:00~  
講師: 辻 哲夫 氏 (東京大学高齢社会総合研究機構特任教授)

**その5** あたらしい街づくりのか・た・ちを考える  
~厳しい地球環境制約の中で描きたい心豊かな暮らし~  
2013年2月4日(月) 18:30~  
講師: 石田 秀輝 氏 (東北大学大学院環境科学研究科教授 工学博士)

たまプラ大学、  
今後もまだまだ  
続きます!

### 速報!

「次世代郊外まちづくり」の主要な取組として、  
「スマートコミュニティ推進部会」を  
立ち上げました!

横浜市と東急電鉄は、「次世代郊外まちづくり」の  
主要な取組として、「スマートコミュニティ推進部会」  
を民間企業等と共同で設置することとし、第1回部会  
を2012年12月11日に開催しました。

本部会は“WISE City※”をコンセプトに掲げ、快  
適かつ省エネルギーな街づくりを目指し、既成市街  
地における生活者中心のスマートコミュニティ化を  
目的としております。

#### ■参加企業

イツ・コミュニケーションズ株式会社、  
株式会社 NIT ファシリティーズ、JX日鉱日石エネルギー株式会社、  
株式会社東芝、東急建設株式会社、東京ガス株式会社、  
日産自動車株式会社、株式会社ビットメディア

#### ■横浜市・東急電鉄

横浜市温暖化対策統括本部、横浜市建築局、東京急行電鉄株式会社

アドバイザー: 国立大学学校法人東京工業大学先進エネルギー国際  
研究センター (柏木孝夫センター長)

※WISE City: Wellness、Intelligence & ICT、Smart & Sustainable、  
Ecology & Energy の頭文字をとった造語。賢いまちづくりという意  
味も込めています。

郵便はがき

料  
金  
受  
取  
人  
払  
郵  
便

青葉局承認

694

差出有効期限  
平成25年9月30  
日まで

(切手は  
いりません)

2 2 5 8 7 9 0

横浜市青葉区新石川2-5-5

「次世代郊外まちづくり

ワークショップ」事務局宛



該当する数字に○印をつけて下さい。

性別	1 男	2 女
年齢	1 10歳代	2 20歳代
	3 30歳代	4 40歳代
	5 50歳代	6 60歳代
	7 70歳以上	

お住まい	1 美しが丘1丁目	2 美しが丘2丁目
	3 美しが丘3丁目	4 それ以外の地区

参加したこと のある取組	1 キックオフフォーラム	2 たまプラ大学	3 次世代郊外まちづくり ワークショップ
-----------------	--------------	----------	-------------------------

裏面もご記入お願いします。

